

(A)「いわて環境マネジメントシステム・スタンダード」で省エネルギー

学校をあげて省エネルギーに取り組むため、平成20年2月より本校の環境マネジメントシステムを整備し、「いわて環境マネジメントシステム・スタンダード(IES)ステップ2」の認証取得に取り組むこととした(図1)。IESは環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001のローカル版である。IESステップ2は、ISO14001とほぼ同じ要求項目を設けていながら、コスト面等で取り組みやすいものとなっている。平成20年度中に認証取得する予定である。IESによる環境改善は、PDCAサイクルにより進められる。即ち、毎年、数値目標を掲げた環境改善計画を策定し(Plan)、目標達成に向けて活動する(Do)。毎月、光熱水・燃料に関する削減目標の達成状況を教職員・学生へ通知し、省エネルギーに向けた意識改革を図っている。定期的に自己評価を行い(Check)、改善を図る(Action)。本校はこのような活動を通して、教育研究機関として地球環境を保全していく活動をリードしていきたい。

学生の主体的な取り組みとして、学生会では自らポスターを作成して省エネルギーを呼びかけている。また、寮生会は、光熱水量のグラフを寮内に掲示することによる節約の呼びかけ、学寮内の古新聞・古雑誌を回収してリサイクルへまわす活動、学校近隣の清掃奉仕活動(図2)、「ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンを送る運動」への参加等、主体的に環境問題に取り組んでいる。

(B) 環境における地域との連携活動

本校の所在する一関市には、「ふれあいエコ・ゼミナール実行委員会」がある。これは、環境保全に関する活動を行うことを目的として設立された団体で、一関市、岩手県県南広域振興局一関総合支局、市内企業、本校により構成されている。本委員会は、環境講演会「ふれあいエコ・ゼミナール」の開催を始めとして、積極的な環境教育・エネルギー教育を展開している。本校は、「ふれあいエコ・ゼミナール」に講師を派遣している他、本校にて体験型セミナー「環境と科学のひととき(親子で楽しむエコサイエンス)」(図3)を開催している。

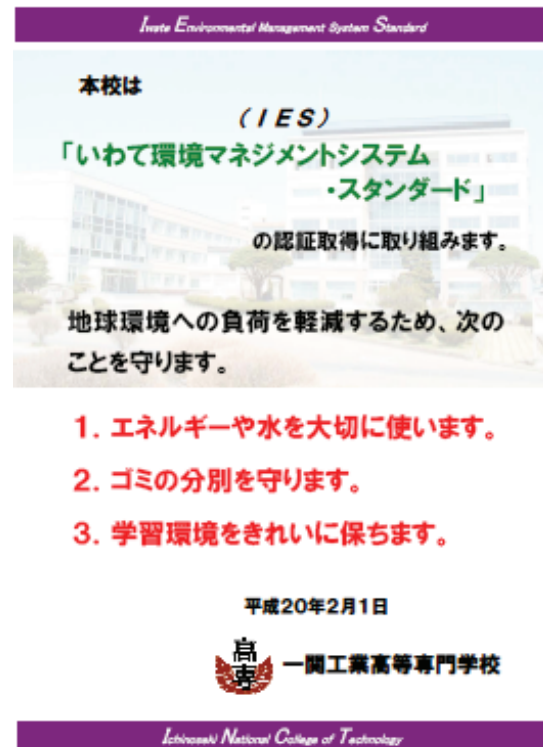


図1 環境マネジメントを通じた取り組み



図2 寮生会の清掃奉仕活動



図3 「親子で楽しむエコサイエンス」の開催